

1
年
間
痴
漢
さ
れ
続
け
た
女





でも…
今は…この1年間は

ガマンし続けるしかない…!!



1年間
痴漢され続けたギャル

第1話 長い長い 痴漢調教の 始まり



あたしは

強
か
つ
た

女子校生
おうら
邑楽あかり



女の子らしいことなんて
何もしたこと
なかった

毎日
父のいいつけで
朝から晩まで
練習 練習で…



中学の頃には
男子も混ざった
大会で
全国制覇するほどに
なっていた

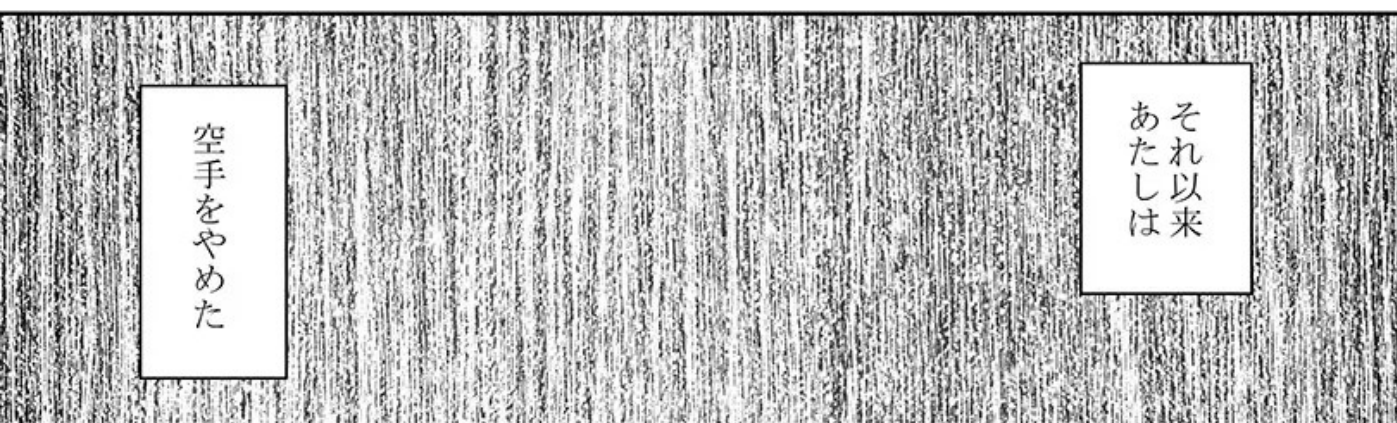
小さい頃から
父に空手の
英才教育を受けていた
あたしは



そんなある日
父は逮捕された

それも
暴力沙汰で…

一般人相手に
空手を使って
ケガをさせて…



それ以来
あたしは

空手をやめた



一人暮らしを始めた
あたしは

女の子の友達と
女の子らしい
遊びをして

それまでの人生とは
真逆の生き方を
していた

空手をやめて
ただのギャルとして
すごして1年

突然

あたしの前に
災厄が
降りかかった



それは
借金取りの男たち



キツチリ
アンタに
払ってもらうよ

お前の父が
残した借金
利子を含めて
3400万



1年間
無遅刻無欠席で
働くことができたら

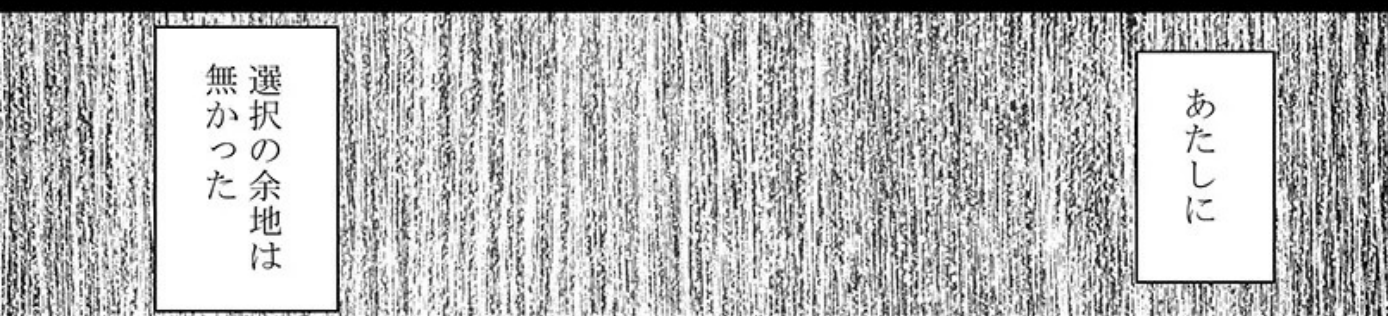
借金は帳消しにする

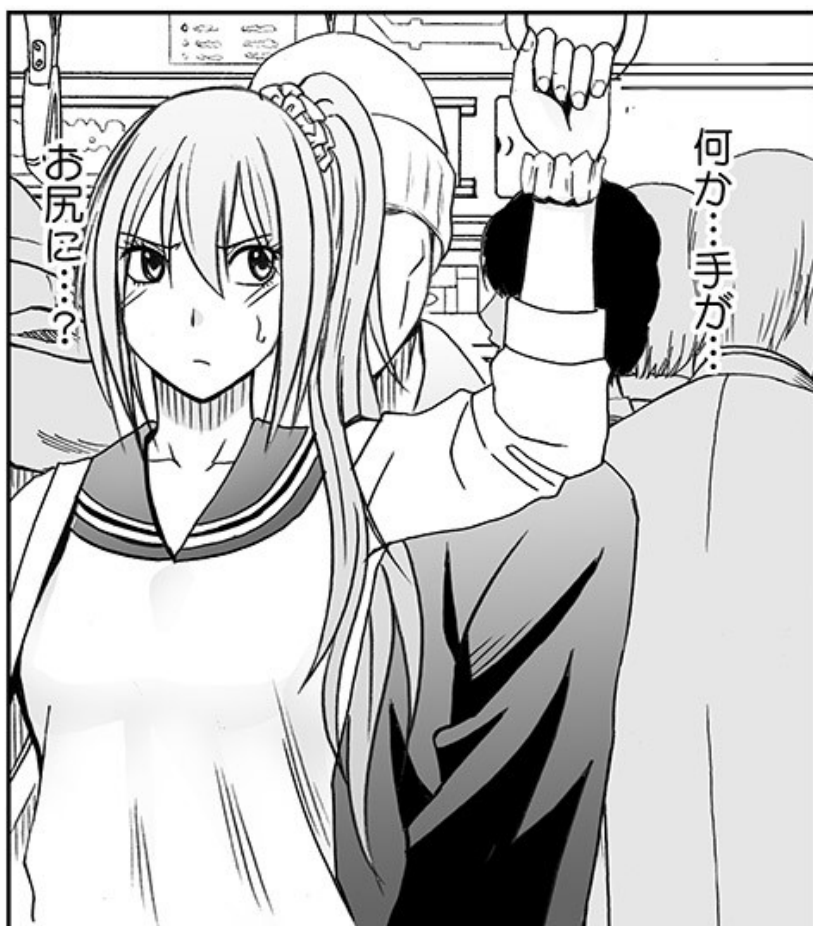
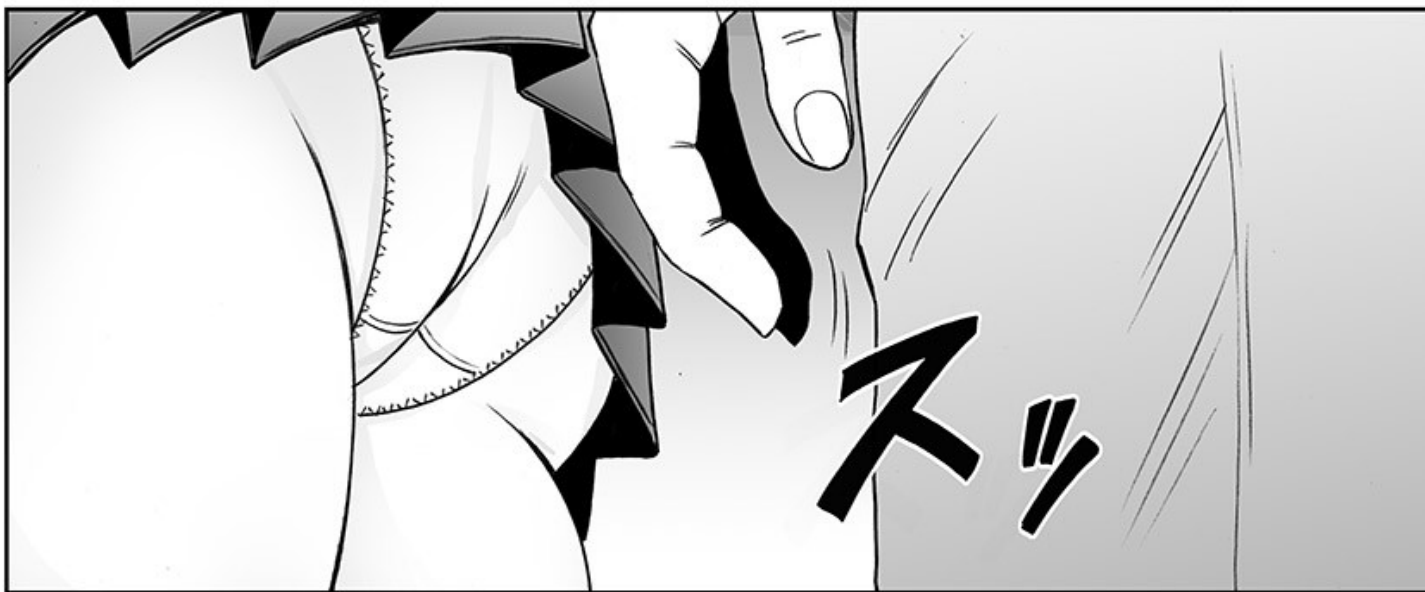
この借金の貸主が
オーナーをやつてる
キャバクラで

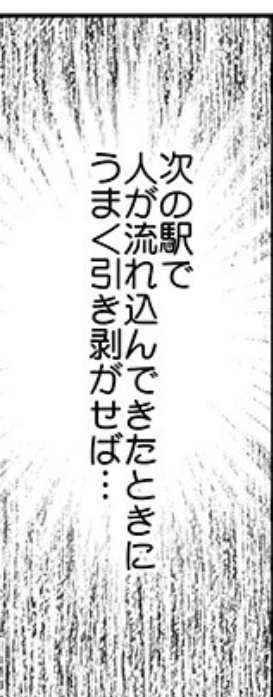
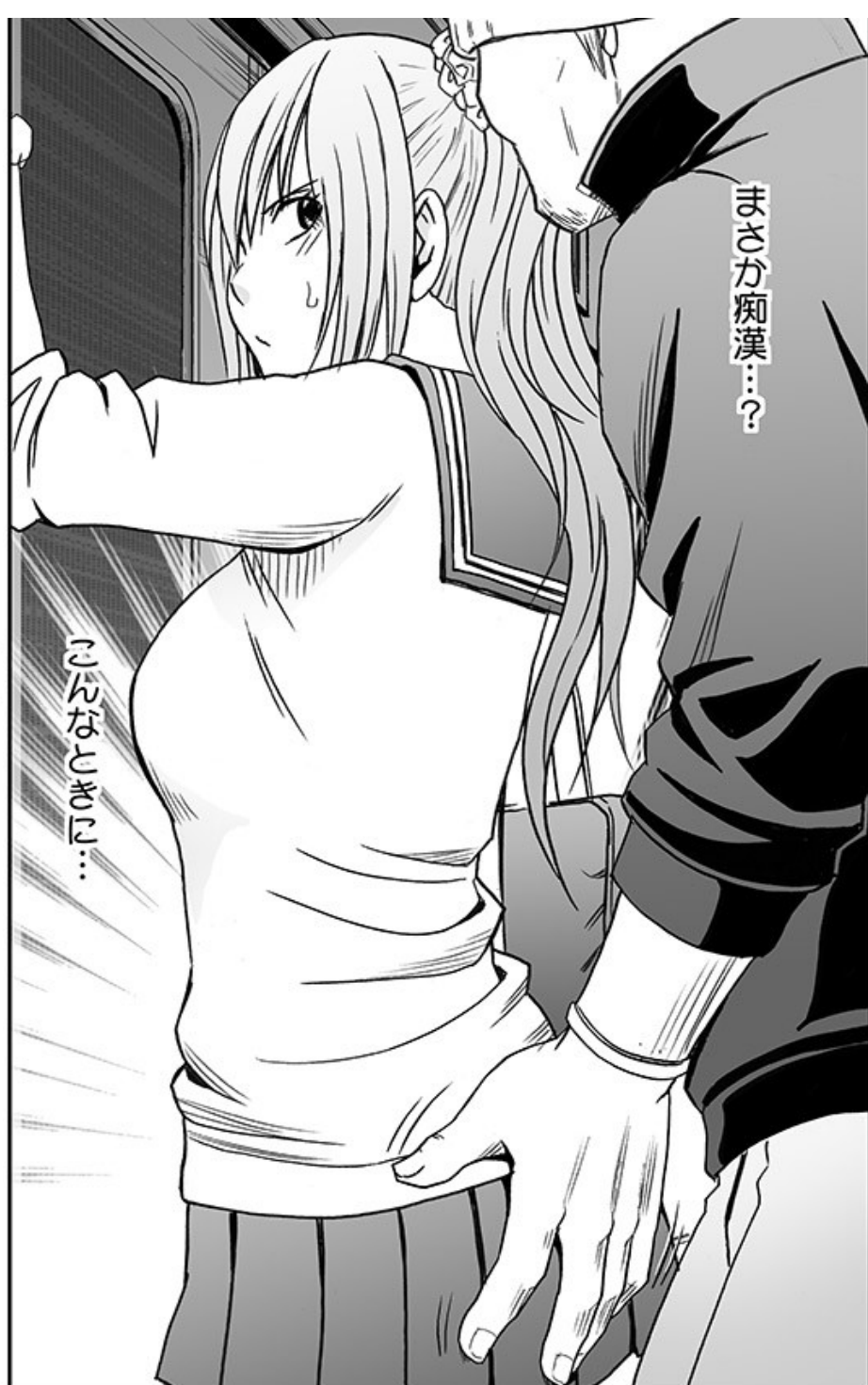
だから
こんな条件を提示してきた

当然
ただの女子校生の
あたしに
そんな支払い能力なんて
無い

それは相手も
分かっている











かわいいね〜

あたしは
知らない間に

痴漢たちに
囲まれていた

あんまり
こういうの
慣れてないって
感じだね

おじさんたちが
開発してあげようか？

ちよつと
静かにガマンしてれば
すぐ終わるって
思ってたあたしが
甘かった

完全に囲まれて
押さえつけられた
あたしは

好き放題に
カラダを触られて







まるまる2時間

弄ばれ続けた





それまでは
お尻や太ももとかを
撫でるだけで
アソコを直接触られたりは
してなかったのに



いきなり
一番敏感な部分に
触れてきて…





衝撃的だった



背中から頭まで
電気が走ったみたいに

それは格闘技一筋で
生きてきたあたしが

味わったことのない
感覚だった



来る…!!
何か来る!



何なのコレ!



あたしのカラダは
2時間かけて
トロトロにされてた

もうガマンなんて
できなかった

抵抗しようと
思ったときにはもう
遅かった



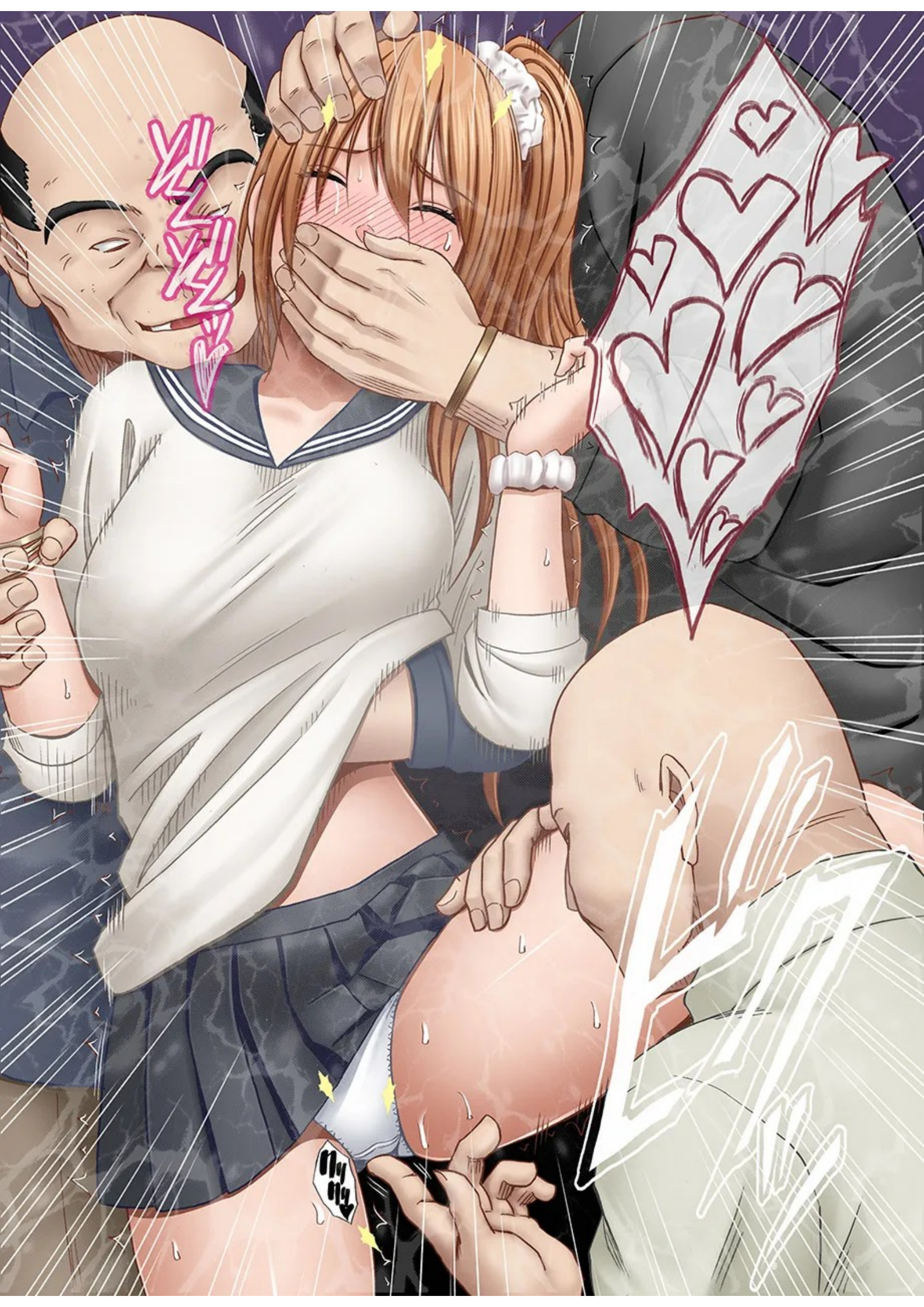
ダメエツ!



待つて!
怖い!

あたしのカラダ…!!

どうなってるの!?





最初から
本気出していればとか

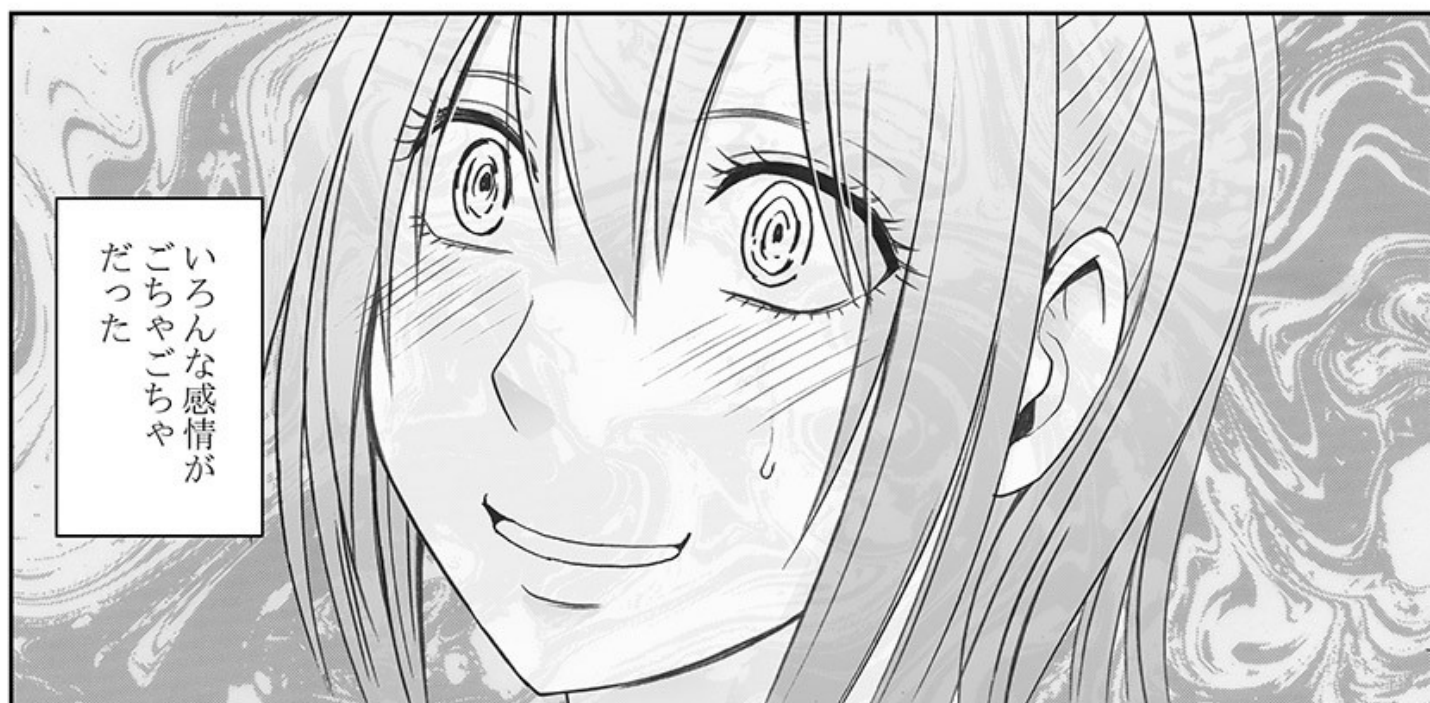
今は騒ぎを
起こせないから
仕方ないとか



そんないいわけを
頭でしながら

途中から
頭を真っ白にされて

あたしはイカされた





今日1日で
いろいろありすぎた
その日



あたしは泥のように
眠った！



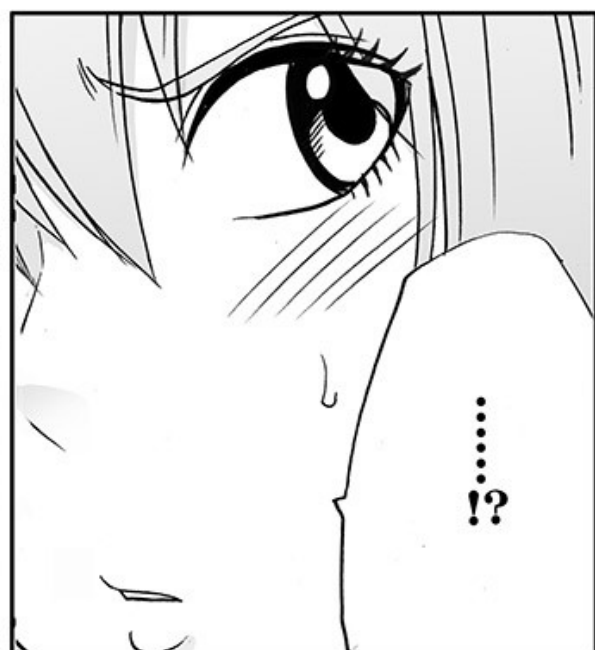
借金返済まで

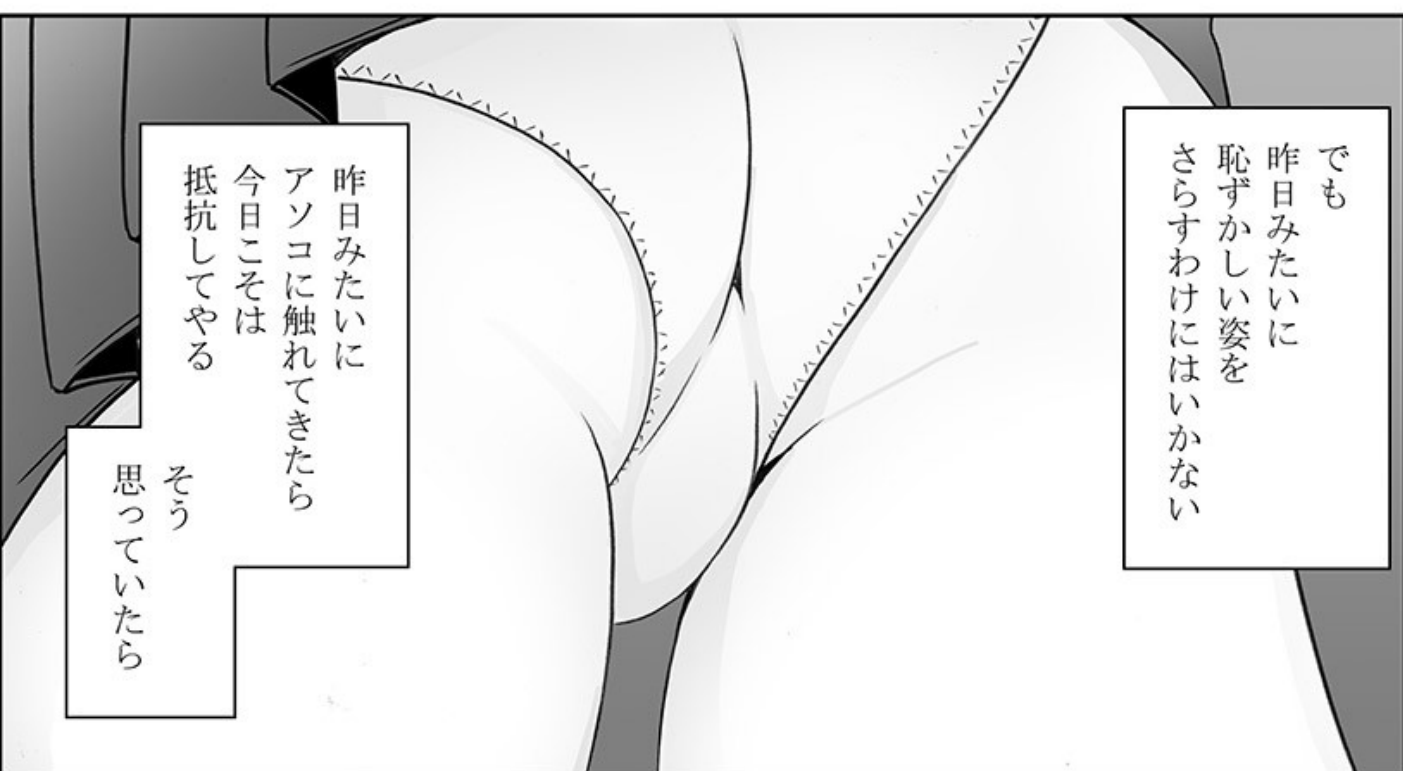
あと
364日！

第2話

始まった開発
胸だけで絶頂









その日は
痴漢たちの行動が
前日とは違ってて



カラダはしっかりと
押さえつけて
くるけど

下半身には
いっさい触れてこようと
せずに

胸ばっかり



脇の下から
胸の横あたりばかり
グリグリと押すように…



はあ？

何で
そんなところ
ばかり

何なんだよ
コイツら…

その日は
結局

胸の横ばかり
押されて
終わって…



次の日も
電車に乗り込むなり
同じ男たちに
囲まれて…

やっぱり
狙われてる？

偶然じゃない

こいつら
あたしを毎日
痴漢するつもりなの？

その日も
アソコとか
乳首とかに触れてきたりは
せず

胸の横だけ
しつこく…

始めは何とも
無かったんだけど

しつこくしつこく
毎日2時間

次の日も
次の日も
ひたすら
胸の横だけを

揉み解すように

何だか
胸の奥が
しびれるみたいになって

しつこく
撫でられたり
もまれたりを
されてるうちに

そこから
カラダ全体に
へんな感覚が走り始めて



敏感な部分は
触られてないはずなのに

ただ胸の横を
押されてるだけなのに

え...?
何で...?

あたしのカラダ...?
どうなって...?

6日目

電車を降りるとき

いつものまにかあたしは
胸の横だけで

パンツを
びしょびしょに
されてた...

日曜日

そして
7日目…

今日は日曜日だから

さすがにあいっつらも
いないんじゃないか
なんて…

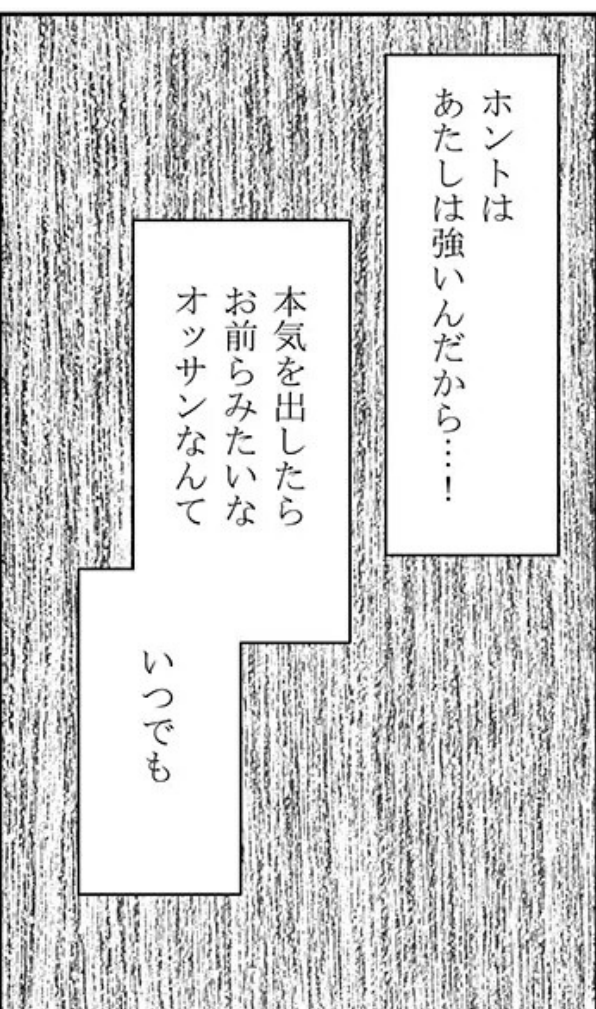
思いながら
電車に乗ったら





困まれて

やっぱり



ホントは
あたしは強いんだから……!

本気を出したら
お前らみたいな
オッサンなんて

いつでも

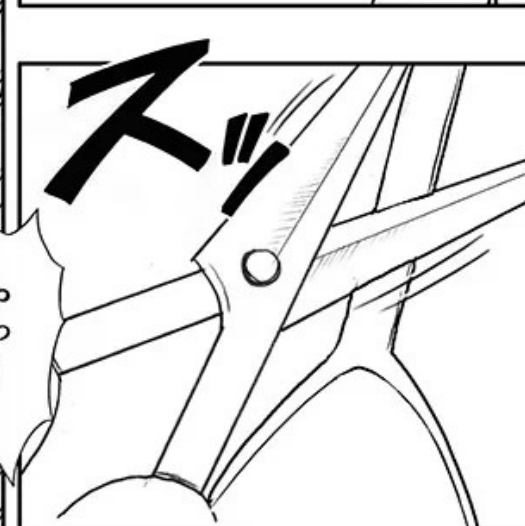
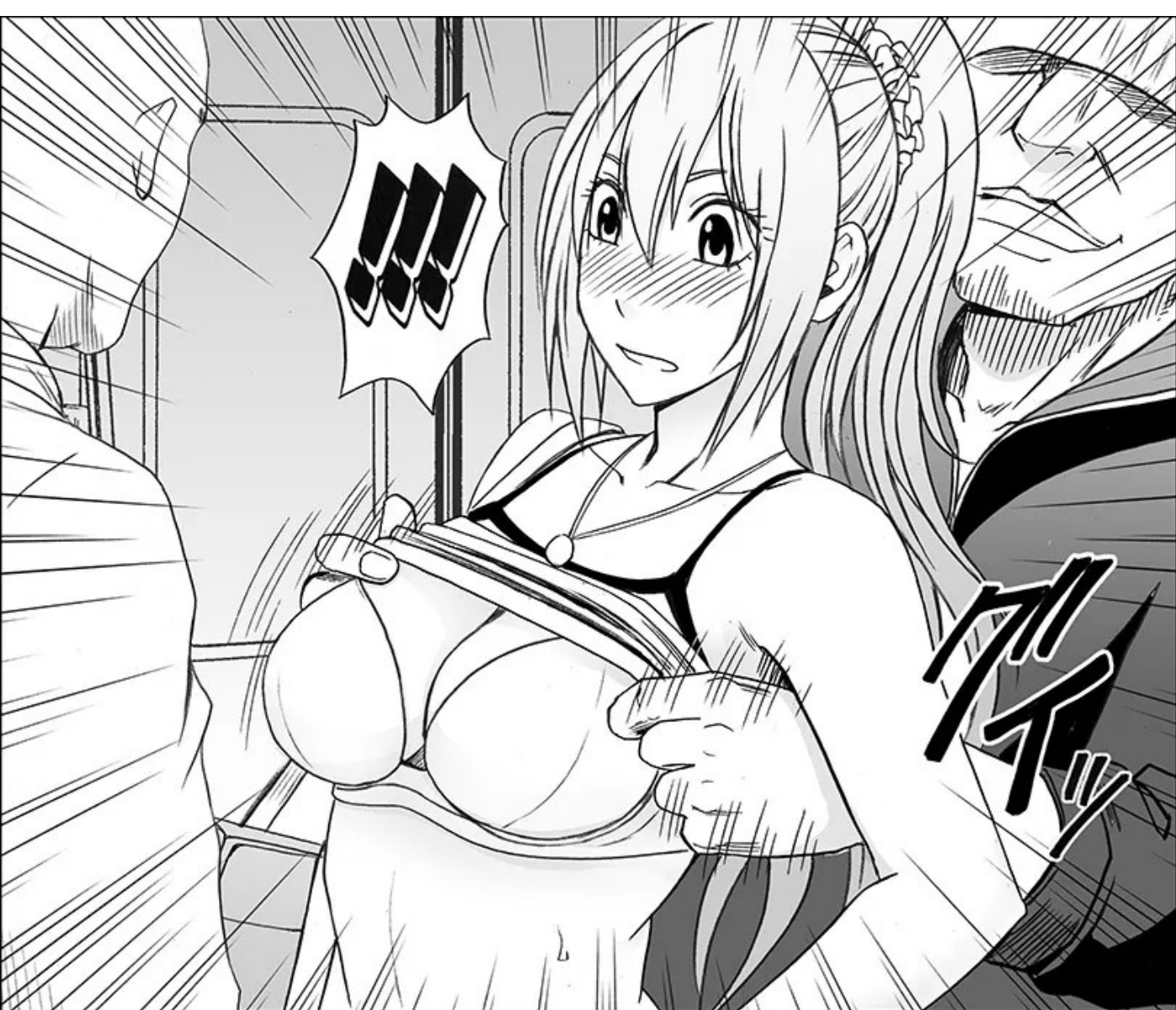


あたしが
抵抗しないからって……!



くそっ……!

ホントに
何なんだよ
コイツら……



ちよつと！



そんな...!

こんなところで
胸を...!

もう許せない!

さすがにこれ以上は...!

あたしはただの
無抵抗な女じゃない!

思い知らせてやる!

あたしが
ガマンできずに
殴りかかろうとした

そのとき



そいつらは不意に

キョッ

乳首を

……ッ♡

ブンブンブン

ズンズンズン

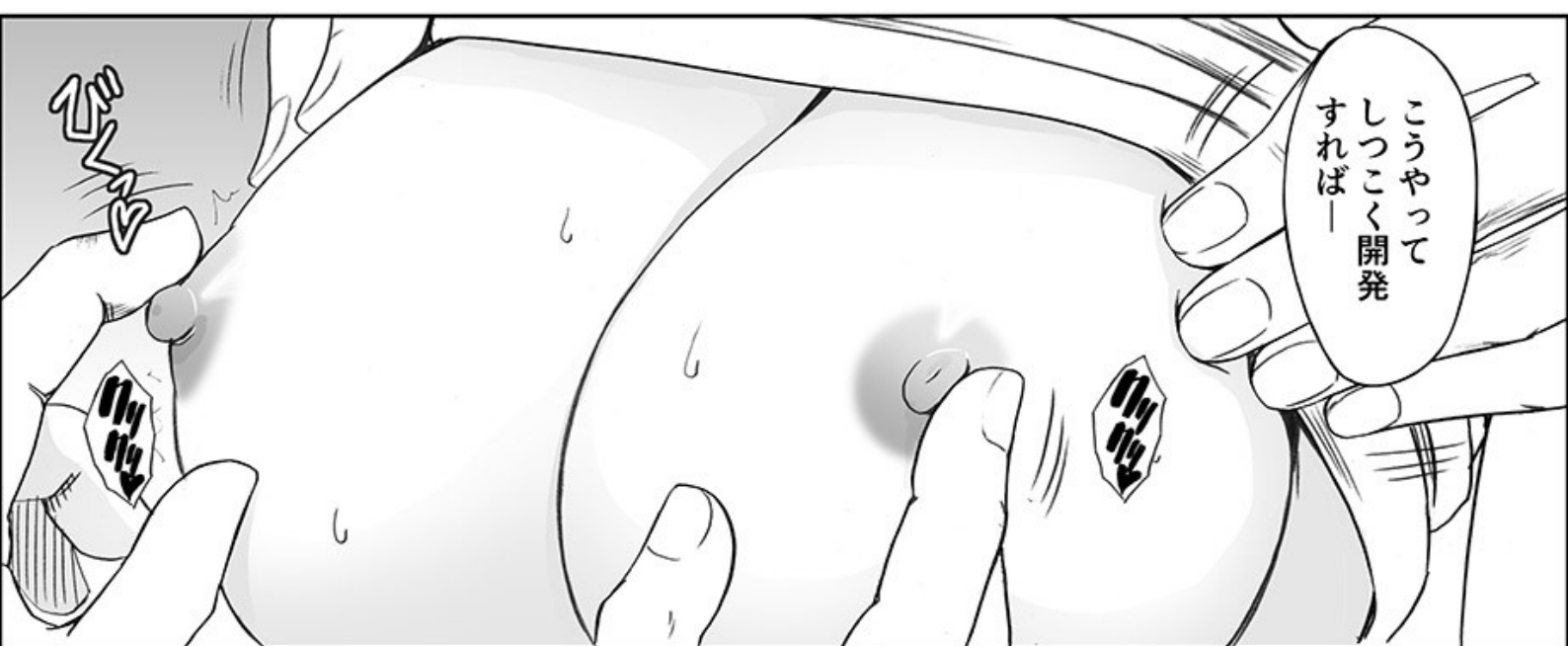
……ッ♡

ズンズンズン

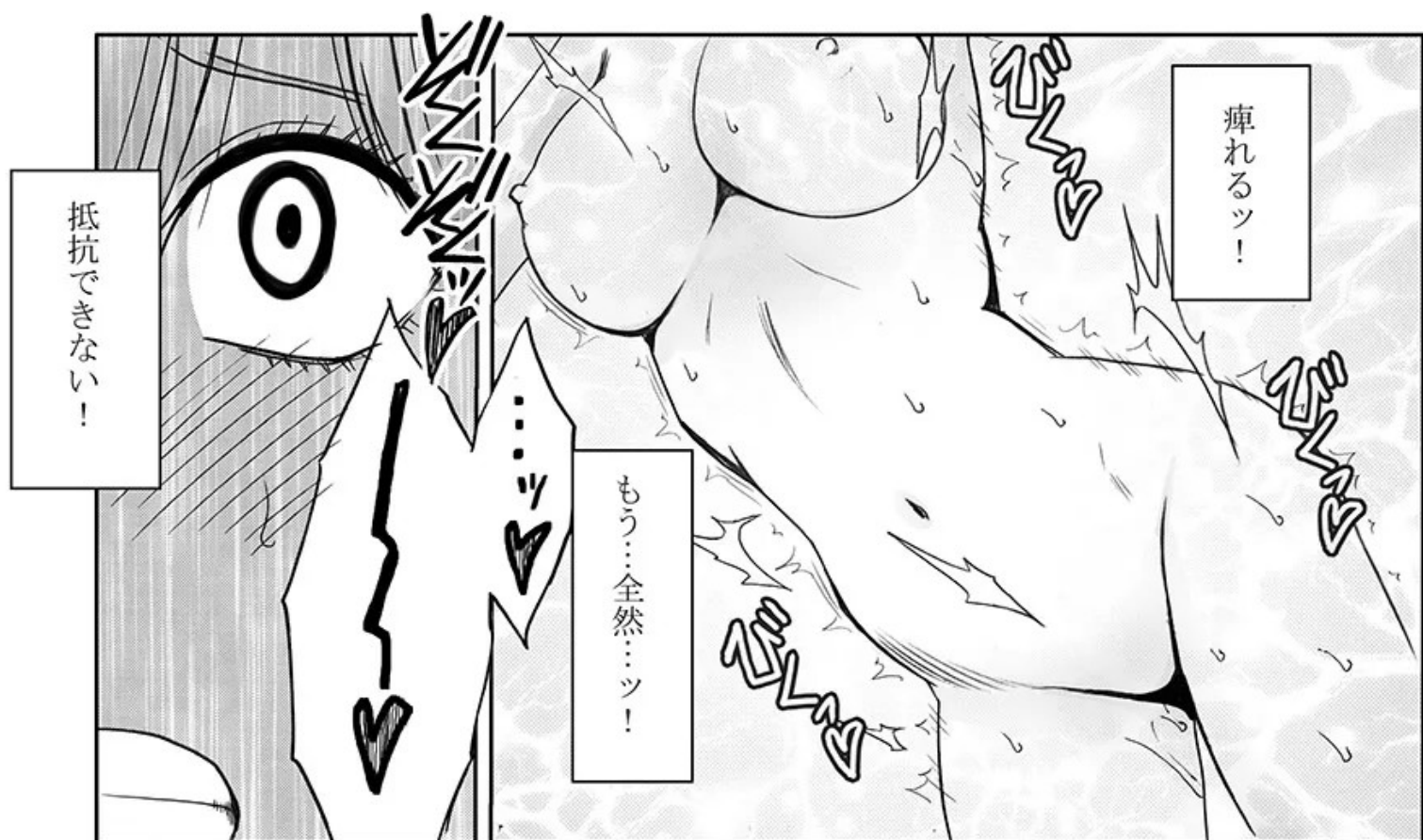
この1週間

胸の横ばかり
触られ続けて

焦らされてた
あたしの
乳首を…！









ちゅっ

その繰り返しで

ちゅっ

ちゅっ

あたしのカラダは
どんどんおかしくなって

そのまま
2時間

胸の横の
『弱点』を揉まれて
カラダ全身に快感を
駆け巡らされて

乳首をいじられて
それがはじけ飛ぶ

最後は
おっぱいだけで
イカされて





第3話

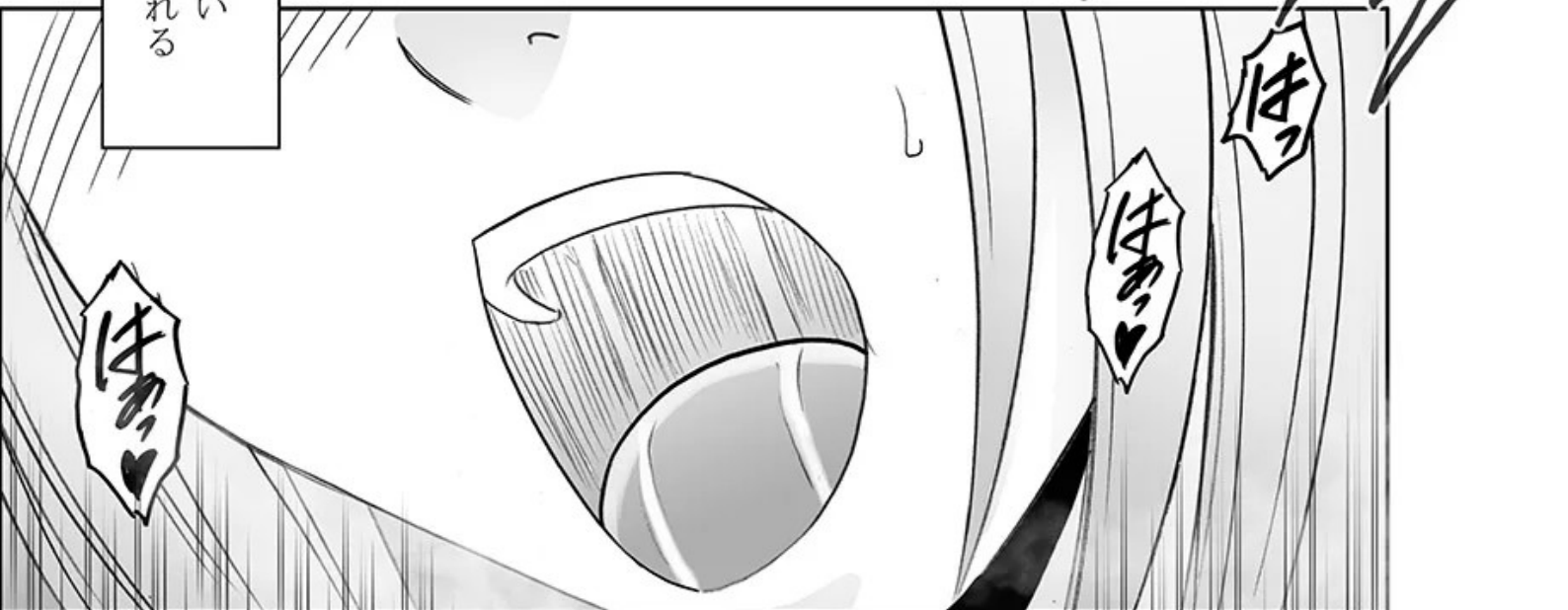
終わらない 快感の拷問

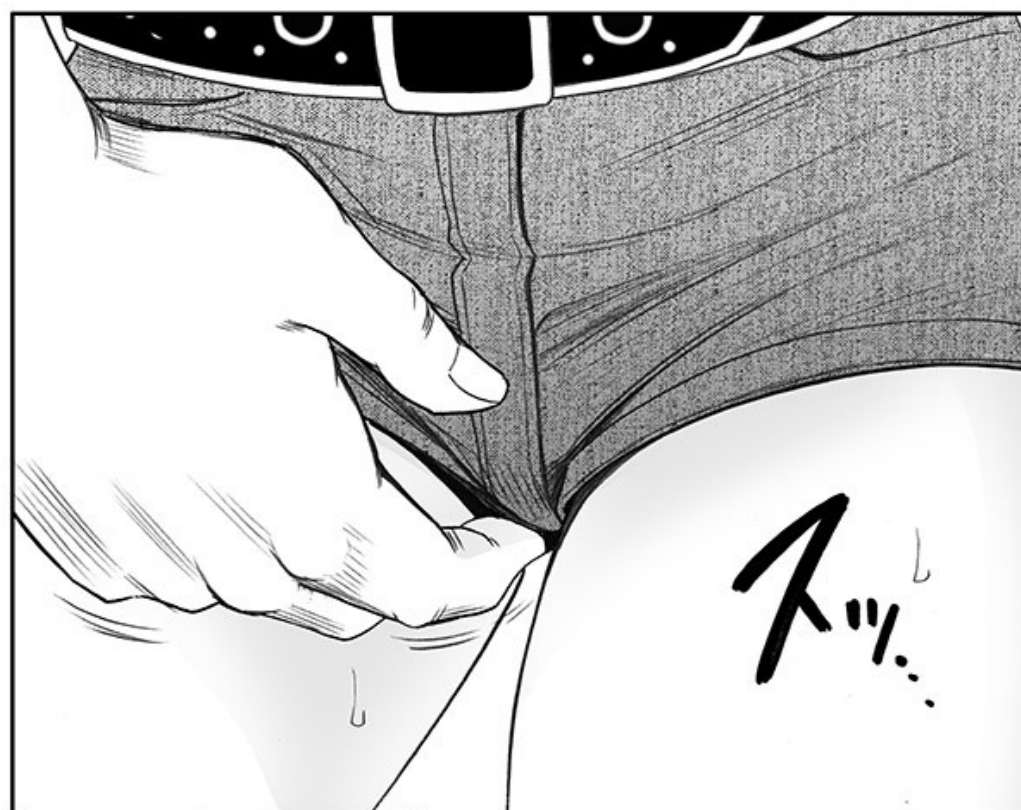


いろんなところを
触られて

知らない快感を
引きずり出されて

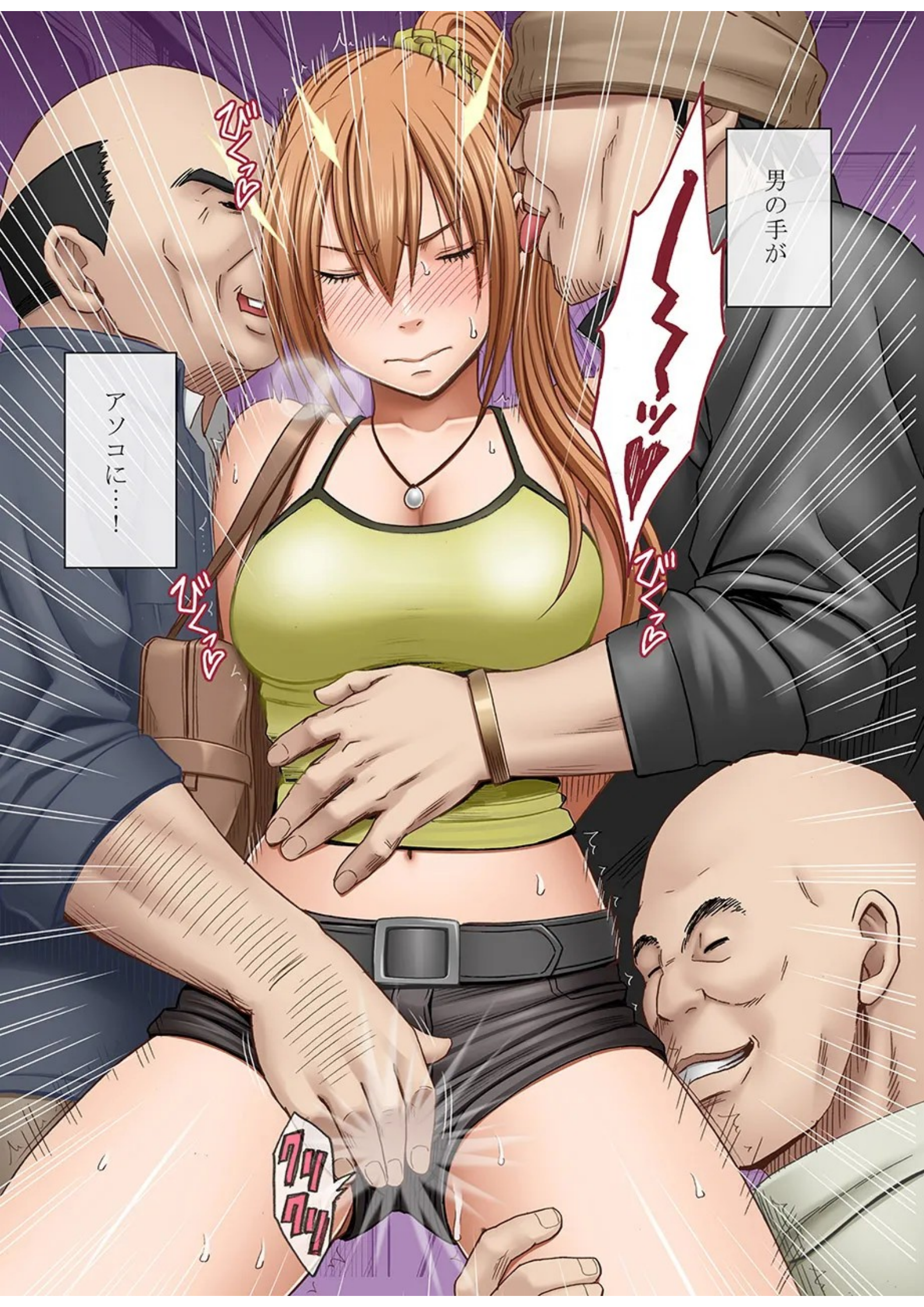
いっぱい
イカされる





男の手が

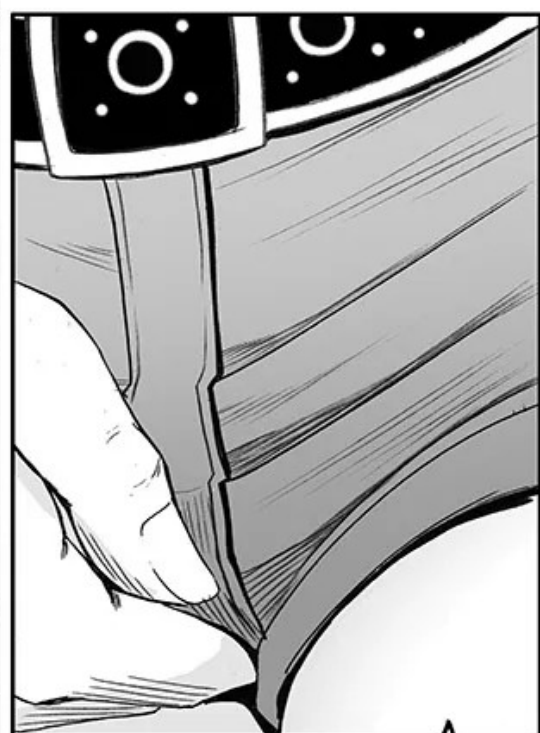
アソコに……!





全身を開発されて
快感を知ってしまった
今のあたしのカラダは

あのとときは
比較にならないほどで



初日に触られたときも
確かに
衝撃的だったけど



直接

指を…!



これまで
体中をじっくり
開発されてきたけど

自分のカラダに
まだこんなに
恐ろしいほど

気持ちいい部分
あったなんて

あたしは
ただ腰をクネらせて

恥ずかしい姿を
晒さないように耐え続ける
ことしかできなくて

ダメ……！

全然ガマンできない！

力も入らない！

何もできない！



イク...!



そんな…

まだ
2 駅しか
進んでないの？

こんな
無理矢理
イカされるのを

まだあと
1 時間 5 0 分
以上…？

ありえない
…！

こんなの

拷問…！



男たちは
容赦なかった

イヤがる
あたしを
無理矢理
おさえつけて

クリトリスと
ナカとを交互に…

今まで調教された
トコロも全部
責められて



その日
1日だけで

10回はイカされた

第4話

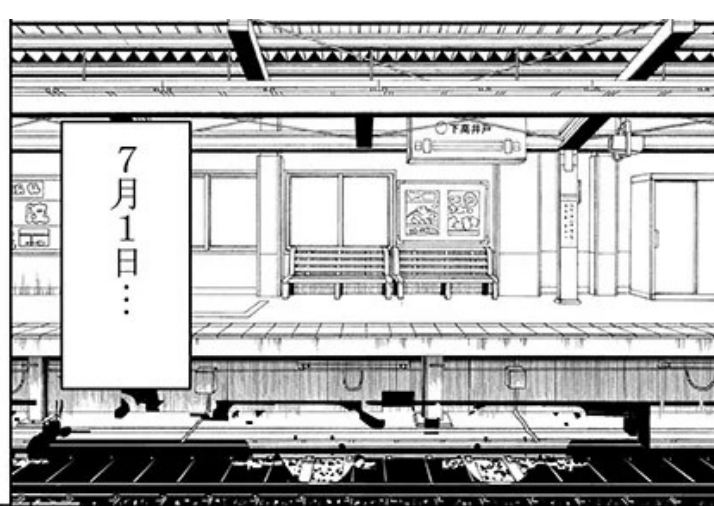
恥辱の『祭り』

ぶっかけられる

欲望



今日もまた…
イカされる



7月1日…



毎日電車に乗っては
囲まれて
イカされる

確実に
一回はイカされる



そんな日々を
過ごしながら

あたしはいつしか
思うように
なっていた



これは
試練なんだ

空手の修行
ばかりだった
過去の

父との
決別……！

あたしは絶対に
暴力を使わずに

1年間
耐え続けてやる……！



7月20日

その日

男たちの
触り方が
ヘンだった

ザタン

そんな
独りよがりな決意を
静かに固めていた

でもその時の
あたしは心の中で

イカされすぎて
頭がヘンに
なっていたのかも
しれない

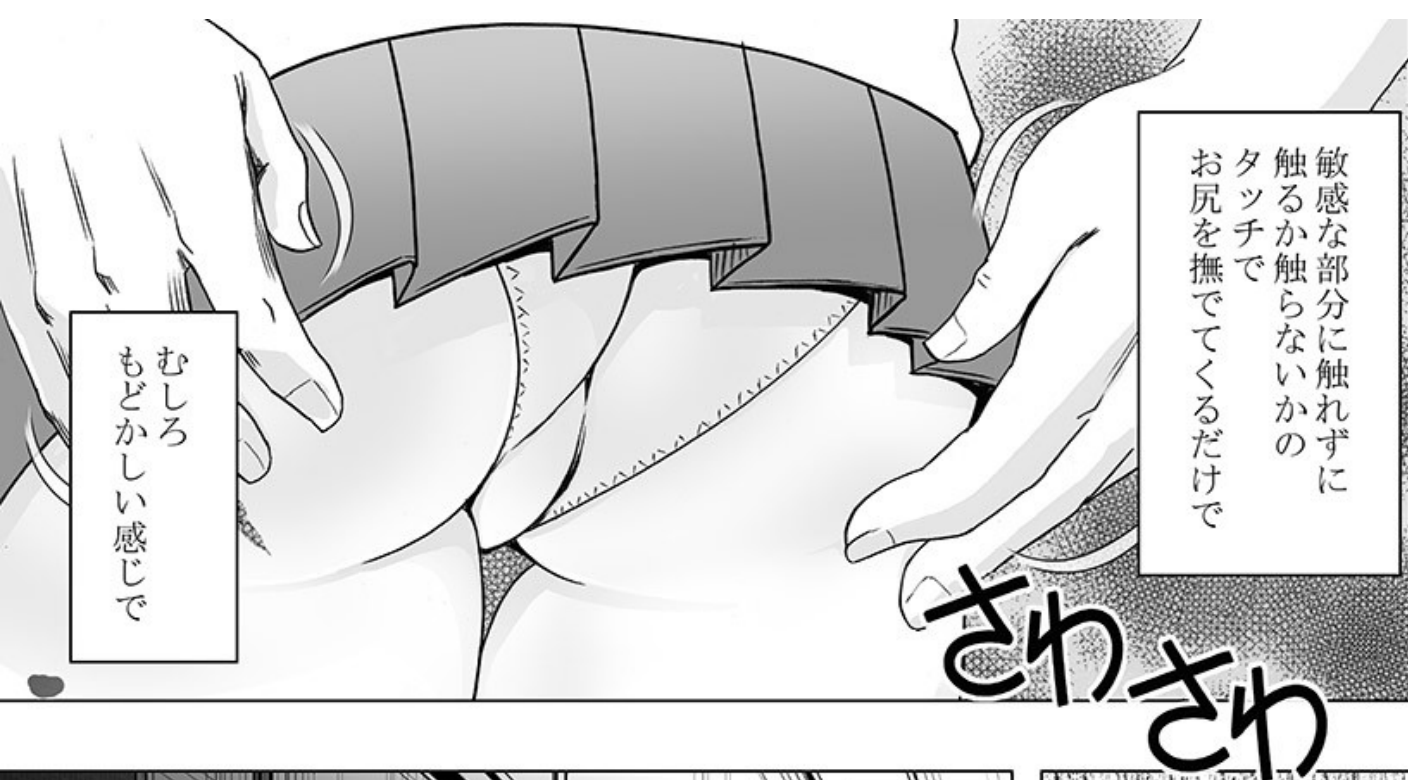


今まであたしを
散々イカせてきてた
はずなのに

ザタン

急に
触り方が
ソフトになつて

さゆさゆ





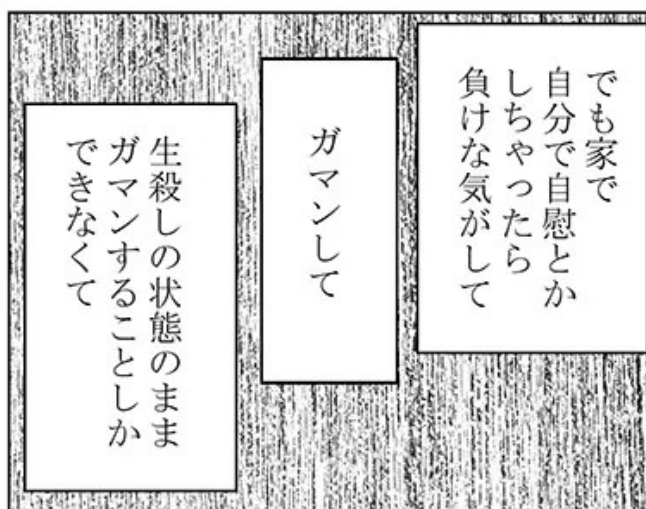


焦らされてる



そのまま
1ヶ月近く…

そんな状態を
続けられて…



でも家で
自分で自慰とか
しちゃったら
負けな気がして

ガマンして

生殺しの状態のまま
ガマンすることしか
できなくて



もう…絶対に…



自分でも分かったた

今のあたしの
カラダの状態

今
敏感な部分を
触られたら

そんなある日

その日は
8月15日だった

お盆だったからか
いつもと違って
電車がすいてたから

座席に
座ったんだけど

それが間違いだった

ガタン

ガタン

座ったとたん
どこからか
男たちはやってきて

あたしは囲まれて

しかもその日は
いつもと違って
3人だけじゃなくて
もっと大勢の男たちがいて

完全に
まわりに見えないくらい
取り囲まれて



左右からも
押さえつけられて

.....!!

あたしはどこにも
逃げられなく
なってる...

グッ



これはマズイ

本能的に
そう思ったけど

抵抗しようと
思ったときには

もう遅すぎた

ミヤ





耳を舐められながら
乳首を触られて

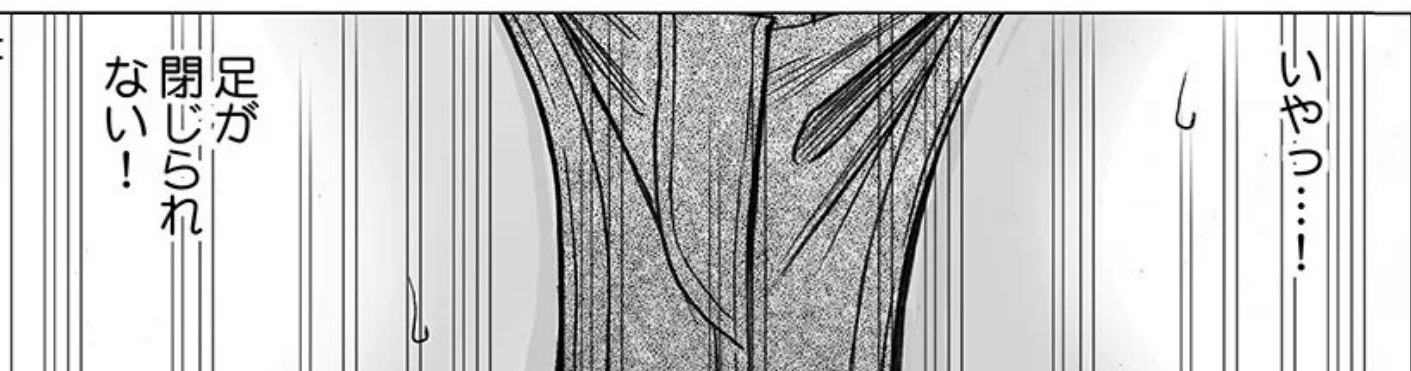
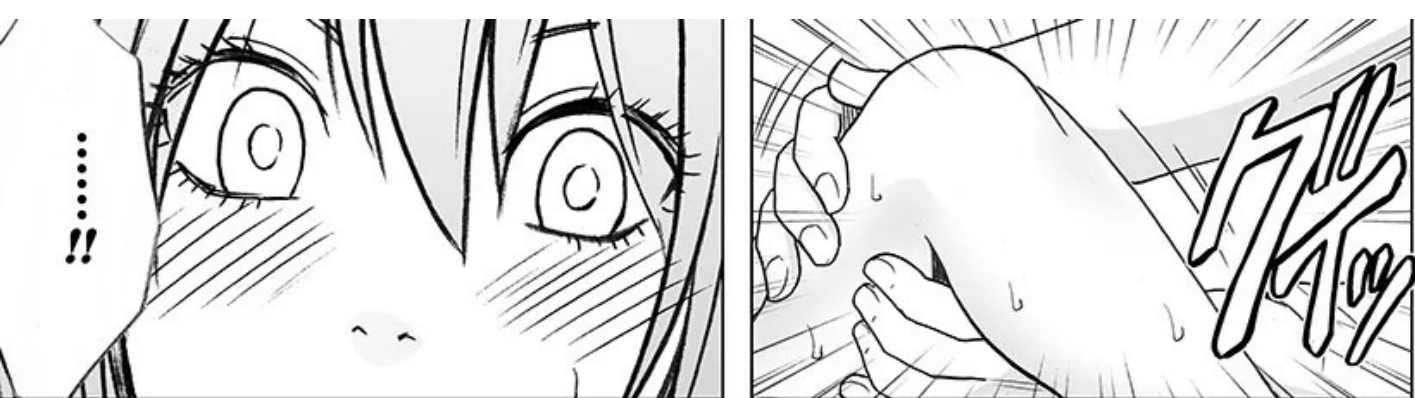
一ヶ月以上焦らされた
あたしのカラダは

抵抗するより先に
イカされてしまった





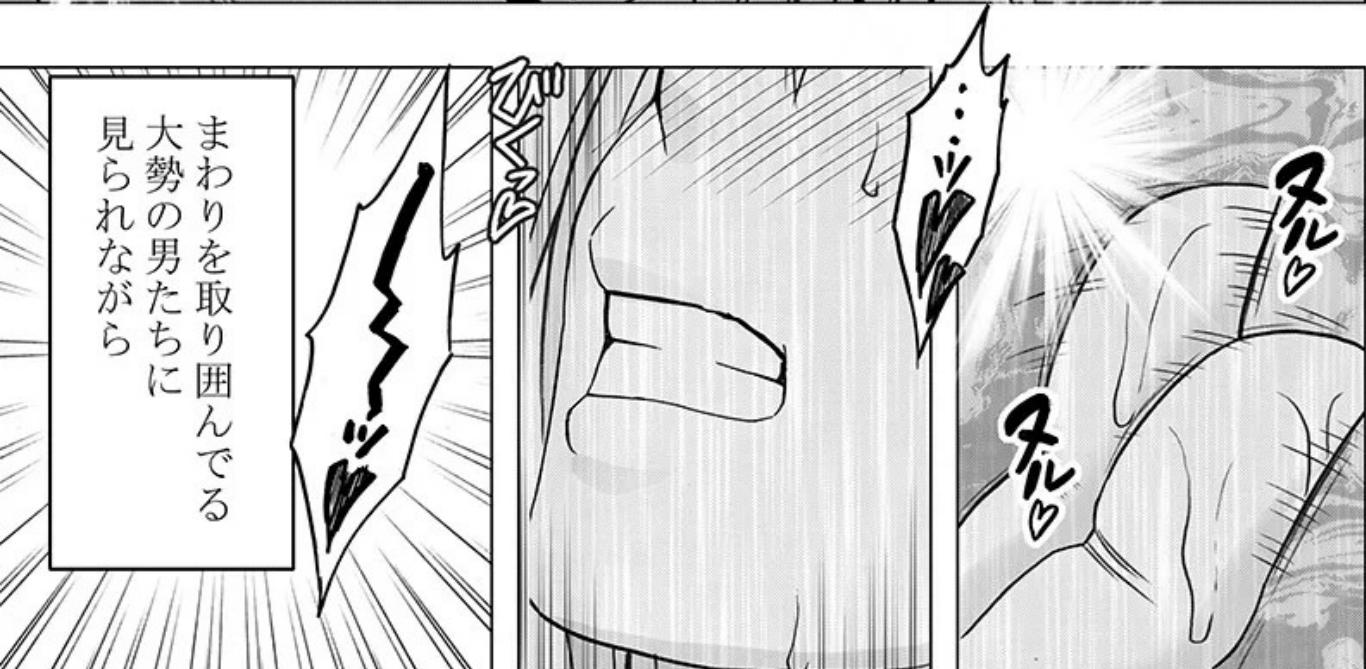






もうダメだった

座った状態で
痴漢されるのは
立った状態よりも
快感を逃がすことが
できなくて



まわりを取り囲んでる
大勢の男たちに
見られながら

あたしはもう
イカされるだけで



一ヶ月
焦らされて
焦らされて

あたしの
カラダに
溜め込まれた
欲求不満を――

一気に放出させられる

全部
こいつらの思い通りに
なってるみたいで

本当に悔しかったけど



気持ちよすぎて
気持ちよすぎて

どうにも
ならなかった



イカされすぎて

途中から
ヘンなスイッチが
入ったみたいになって

イキっぱなしの
状態みたいになって





ダメ……！

それだけは……！

入れてくるのは
絶対ダメ！

それだけは
許しちゃ
ダメッ！

ドキドキドキドキドキドキ

もし
挿入してくるんだったら
それは阻止する！

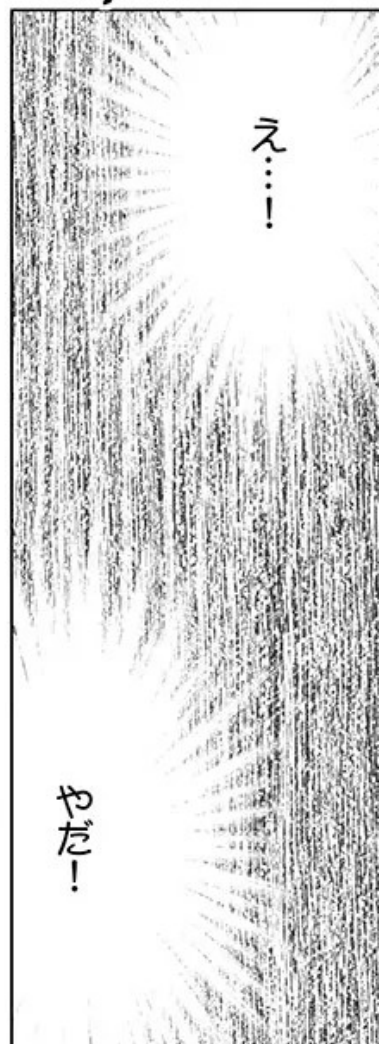
それはさすがに
本気で抵抗してやる！



そう思っていたら

男は
挿入はしてこなくて







結局
そのまま

あたしは何もできずに

口の中に

欲望を
ぶちまけられた

ビュッ

ビュッ

ん
ッ

めろ
めろ

男たちの
生暖かい液を
体中にかけられて…

その後も
押さえつけられて
イカされながら

8月15日

痴漢されはじめてから
3ヶ月目…

こうして

屈辱にまみれた
1回目の「祭り」は
終わった

